

□ ■ (株)技術情報センター ————— ■ □

「いいテク・ニュース」  
～ Ecology & Energy-Techno News ～

□ ■ ————— 2012.7.25 Vol.112 ■ □

梅雨が明け、晴天・高温の日が続き暑いと思いきや、涼しすぎる日があったり、気温の乱高下に体がついていくのが大変ですね。

今日は天神祭の船渡御です。気温も徐々に上昇しています。

天神祭が来ると夏本番を実感しますね。

また、今夜(日本時間26日1時)からなでしこジャパンのロンドン五輪1次リーグが始まります。

オリンピックの応援もヒートアップしそうです。

暑さと応援の興奮で寝付けなくならないように、適度にクールダウンしながらこの夏を楽しみましょう。

暑き日を海に入れたり最上川

松尾芭蕉  
(1644-1694)

(株)技術情報センター「いいテク・ニュース」第112号をお届けいたします。

今回は2012年8月後半開催19セミナーと新規取り扱い書籍情報30タイトルと盛り沢山の内容になっています。

ご興味がおありのテーマを選んでお読みいただくとありがたく存じます。

□ ■ ————— ■ □  
index

□ ■ ————— ■ □

- ◇セミナー情報[2012年8月開催セミナー/19件]
- ◇おすすめセミナーPick Up
- ◇新規取り扱い書籍情報(30タイトル)
- ◇セミナー及び書籍・調査資料Webサイトアクセス数Top10
- ◇E-mail変更・不要について
- ◇雑記帳

□ ■ ————— ■ □  
セミナー情報  
[2012年8月開催セミナー/19件]

□ ■ ————— ■ □

当社主催セミナーを、日付順でご案内致します。  
詳細につきましては、各セミナータイトルの下にございますURLにてご案内致しております。

■ 8月21日(火)-----

太陽熱発電(CSP)/太陽熱複合発電(ISCC)の  
市場・技術開発動向と展望  
<http://www.tic-co.com/seminar/20120809.html>

バラスト水規制と処理技術及び装置の実用化・適用動向  
<http://www.tic-co.com/seminar/20120815.html>

■ 8月22日(水)-----

太陽光発電における系統連系技術と  
発電設備設置に係わる法令と諸手続の進め方  
～固定価格買取制度(FIT)の状況、系統連系規定を  
踏まえ解説～  
<http://www.tic-co.com/seminar/20120802.html>

～環境負荷低減・二酸化炭素排出抑制・法規制対応に向けた～  
LNG燃料船・エコシップに関する最新状況と技術開発動向  
<http://www.tic-co.com/seminar/20120808.html>

■ 8月23日(木)-----

熱交換器の設計入門  
～エネルギー・環境関連、石油精製、石油化学、その他各種  
プラントの中で使用される熱交換器の伝熱設計と機械設計の  
ポイントについて詳説～  
<http://www.tic-co.com/seminar/20120801.html>

～FIT法(固定価格買取制度)、補助金、規制緩和等を  
踏まえた～  
中小水力発電(マイクロ水力発電含め)に関する  
法規制・経済性と技術ポイント及び導入事例  
<http://www.tic-co.com/seminar/20120804.html>

技術者のための原価・経理・採算性の知識  
<http://www.tic-co.com/seminar/20120817.html>

■ 8月24日(金)-----

洋上LNGの船級・適用規格及び  
要素技術・設備・装置の最新動向  
～FLNG/LNG FPSO、FSRU/FTRU、LNGRV～  
<http://www.tic-co.com/seminar/20120813.html>

低コストでできる排水の窒素規制対策  
<http://www.tic-co.com/seminar/20120810.html>

■ 8月28日(火)-----

太陽光発電用パワーコンディショナの  
技術開発動向と運転安定化技術  
<http://www.tic-co.com/seminar/20120805.html>

排水中フッ素・ホウ素の効率的除去・処理・回収技術

<http://www.tic-co.com/seminar/20120814.html>

■ 8月29日(水)-----

～海外プロジェクトにおける～  
見積段階の契約条件チェックと実際のクレーム作成・交渉戦略  
<http://www.tic-co.com/seminar/20120803.html>

太陽光発電と蓄電・電力貯蔵システムの最新動向及び適用技術  
<http://www.tic-co.com/seminar/20120812.html>

ステンレス鋼の溶接技術の実際  
～溶接方法の選択およびステンレス用溶接材料の選定から、  
溶接技術のポイントならびに溶接欠陥とその補修・防止対策まで～  
<http://www.tic-co.com/seminar/20120818.html>

■ 8月30日(木)-----

火力発電に関する現況及び開発動向と要素技術  
～技術を含めた現状、ガスタービン開発、タービン系配置・  
配管設計～  
<http://www.tic-co.com/seminar/20120807.html>

放射性セシウム(Cs)の挙動・回収・除去と  
汚染水・土壌・飛灰の減容化・除染技術  
<http://www.tic-co.com/seminar/20120816.html>

ー【省エネのための解析・評価ソフト】による演習付き！！ー  
工場・ビル・施設の省エネルギーとコスト評価手法  
<http://www.tic-co.com/seminar/20120819.html>

■ 8月31日(金)-----

バイオマス発電システムの計画・設計と経済性評価  
～目的・条件に合わせた発電プロセスの選択と  
経済性を考慮したシステム設計のポイント～  
<http://www.tic-co.com/seminar/20120806.html>

天然ガスを取り巻く国内外の現況及び  
シフト基盤整備の動向と非在来型天然ガス開発技術  
<http://www.tic-co.com/seminar/20120811.html>

各月毎のご案内を、下記URLにご用意致しておりますので是非一度  
ご覧頂けたら幸いです。

■ 2012年8月開催セミナー  
<http://www.tic-co.com/seminar/seminar-08.html>

※開催決定・開催終了分より、随時追加・削除されていきますので、  
最新の情報は上記URLをご参照下さいませ。

今回のPick Upセミナーは

『熱交換器の設計入門』  
～エネルギー・環境関連、石油精製、石油化学、その他各種  
プラントの中で使用される熱交換器の伝熱設計と機械設計の  
ポイントについて詳説～

です

- 講師 東洋エンジニアリング(株)  
エンジニアリング統括本部  
技術部長  
技術士(機械部門) 酒井健二氏

《講師紹介》

《職歴》

S49年4月、東京工業大学修士課程を卒業後、東洋エンジニアリング(株)に入社。  
H5年6月からH19年11月まで技師長を任命される。  
H7年4月からH12年6月まで圧力容器担当部長を兼務する。  
H19年12月より技術部長を任命される。

《業務内容》

入社以来一貫して圧力容器・熱交換器に関するエンジニアリングや機器開発を担当してきた。  
現在は東洋エンジニアリング(株)において技術部長として圧力容器・熱交換器を中心とした機器に関わる全社的な技術責任を負う立場にある。  
また経済産業省、日本工業標準調査会の委員を始めとして圧力容器業界の委員会に数多く参加している。

《受賞》

H4年2月、新規開発した重質油分解反応器に対して燃料協会賞受賞。  
H8年6月、新規開発したメタノール合成反応器に対して石油学会賞受賞。

《専門分野》

石油精製、石油化学、肥料プラント等の圧力容器・熱交換器関連のエンジニアリング、ならびに新規プロセス用の反応器、熱交換器等の開発。

《保有資格》

技術士(機械部門)登録番号第50235号。(社)溶接協会溶接管理技術者特別級。

- 講師 東洋エンジニアリング(株)  
エンジニアリング統括本部  
機械エンジニアリング部  
テクニカルエキスパート  
工学博士  
HTRI日本会員会長 馬英氏

《講師紹介》

《職歴》

H1年3月、北海道大学博士課程を修了。  
H7年11月に東洋エンジニアリング(株)に入社。  
H15年6月よりテクニカルエキスパートを任命される。

《業務内容》

入社以来一貫して熱交換器の伝熱設計を担当してきた。

現在は東洋エンジニアリング(株)において伝熱設計技術の維持・向上、メーカ設計伝熱機器の情報入手・評価、伝熱に関連する研究開発への参加等の活動を行う立場にある。

社外では工業規模熱交換器の伝熱メカニズムを研究し、設計プログラムを開発している世界で有名な研究機関HTRI(本社はアメリカ)のタスクフォースメンバー、日本会員組織の会長を務めている。

<専門分野>

石油精製、石油化学、肥料プラント、下流化学品等、あらゆるプラントの熱交換器伝熱設計、ならびに流動・伝熱関連の研究開発。

財団法人省エネルギーセンターより出版された「熱交換器ハンドブック」を執筆(共著)した。

●日 時 2012年8月23日(木) 10:00~16:30

●会 場 東京・新お茶の水・連合会館(旧 総評会館)・4F会議室

●受講料 49,980円(1名につき)  
(同時複数人数お申込みの場合1名につき44,730円)  
※テキスト代、昼食代、お茶代、消費税を含む

本セミナーでは、熱交換器設計のための総合的な基礎知識を始め、伝熱設計・振動解析のポイント、具体的な伝熱促進方法、設計プログラム・最適設計・適用規格・強度計算・構造設計・大型対応など伝熱設計及び機械設計の実際に至るまで、斯界の第一線でご活躍中の酒井氏、馬氏両講師に解説頂きます。

#### 【受講対象】

エネルギー・環境関連、化学・石油化学など、各種プラントにおいて熱交換器を扱う、あるいは熱交換器に関心のあるエンジニア・技術・研究・開発・設計・生産・施設・運転管理のご担当の方など。

#### 【予備知識】

上記対象者で工学の基礎に関する知識のある方であれば専門知識は特に必要ございません。

#### 【習得知識】

工業用として使われる熱交換器の種類とその構造、伝熱設計の基本とその最適設計方法、機械設計の基本と熱交換器エンジニアリングの流れなどについて、より実際的な知識を習得することが出来る。

#### 【講師の言葉】

熱交換器(Heat Exchanger)は、文字通り、温度の異なる媒体間で熱を交換する機器の総称である。熱交換器は、エネルギー変換や物質変換プロセスに関わる大規模システムにおいて中枢機器の一つであると同時に、われわれの日常生活を見回しても、冷蔵庫、エアコン、湯沸器、自動車は言うまでもなく、パソコンやオーディオ装置といった本来は熱エネルギーの利用を目的でない機器にも内蔵されている、最も身近な機器の一つといえる。

このように、熱交換器の適用対象は極めて広く、温度・圧力条件や

作動流体も千差万別でその種類は非常に多い。

ここではエネルギー・環境関連、石油精製、石油化学、その他の各種プラントの中で使用される熱交換器を中心にその種類や特徴、そして多管式熱交換器などの伝熱設計や構造設計の手順とそのポイント、最適設計のための配慮事項、更には近年要請されている熱交換器の大型化や使用条件の過酷化に対応するヒントなどを解説する。

## 【プログラム】

### I. 熱交換器の基礎知識と設計の考え方

1. 熱交換器の原理と構造
  - (1)原理
  - (2)基本構造 ～ノズル、各部品とその役割～
  - (3)伝熱機構 ～伝導伝熱、対流伝熱、輻射伝熱～
  - (4)流動特性と伝熱特性
2. 熱交換器の種類と特徴
  - (1)多管式熱交換器
  - (2)二重管式熱交換器
  - (3)コイル形(単管式)熱交換器
  - (4)プレート式熱交換器
  - (5)空冷式熱交換器
  - (6)特殊熱交換器
3. 熱交換器設計の考え方
  - (1)設計フロー
  - (2)伝熱性能に関する因子とは
  - (3)強度設計に関する因子とは
  - (4)構造設計に関する因子とは

### II. 熱交換器設計の手順

1. 伝熱設計のポイント
  - (1)熱バランス、温度差、伝熱係数の求め方
  - (2)対数平均温度差と温度差補正係数の求め方
  - (3)管内外熱伝達率と流動損失の求め方
  - (4)熱交換器のサイジング  
～形式選定、チューブサイズと配列～
  - (5)伝熱性能のチェックポイント
  - (6)振動のチェックポイント
2. 熱交換器強度・構造設計のポイント
  - (1)設計要求の確認
  - (2)各部の強度設計  
～管板の板厚、本体フランジの最適設計～
  - (3)各部の構造設計
  - (4)熱応力に対する考慮  
～熱衝撃対策、管板内温度差対策など～
  - (5)大型熱交換器設計の注意点
3. 熱交換器最適設計のポイント
  - (1)伝熱係数を向上させる方法
  - (2)圧力損失を減らす方法
  - (3)プロセス条件の見直し  
～最適温度差、最適冷却水流量、メタル温度～
  - (4)保守を容易にする設計  
～管板の設計、管継ぎ手の設計～
  - (5)漏れに対する信頼性を向上させる方法  
～フランジの設計、特殊ボルト～

### III. 熱交換器設計の実際

1. 伝熱設計プログラム ～HTRI、HTFS～
2. 適用規格

～特定設備検査規則ASME、Sec.VIII、TEMA～

3. 各部の材料選定
4. 強度計算プログラム
5. 熱交換器の製作と検査

#### IV. 質疑応答

— 名刺交換会 —

セミナー終了後、ご希望の方はお残り頂き、講師と参加者間での名刺交換会を実施させていただきます。

お申し込み・お問い合わせ等は下記URLにてお願い致します。

<http://www.tic-co.com/seminar/20120801.html>

- \_\_\_\_\_ ■
- 新規取り扱い書籍情報(30タイトル)
- \_\_\_\_\_ ■

新たにお取り扱い致します書籍を、分野別にご案内致します。  
詳細につきましては、各書籍タイトルの下にございますURLにて  
ご案内致しております。

-----《 エネルギー 》-----

GaNパワーデバイスの技術展開

<http://www.tic-co.com/books/12sta080.html>

熱電材料と製造プロセス技術

<http://www.tic-co.com/books/12sta083.html>

微細藻類によるエネルギー生産と事業展望

<http://www.tic-co.com/books/2012t852.html>

有機薄膜太陽電池の研究最前線

<http://www.tic-co.com/books/2012t863.html>

スマートハウスの最新市場動向

<http://www.tic-co.com/books/2012z200.html>

-----《 環境 》-----

最新の土壌・地下水汚染原位置浄化技術

<http://www.tic-co.com/books/2012t856.html>

2012年 水処理・水浄化・水ビジネスの市場

<http://www.tic-co.com/books/2012z201.html>

-----《 新材料・新素材 》-----

CFRP/CFRTPの加工技術と性能評価  
<http://www.tic-co.com/books/12sta084.html>

高分子の結晶化制御  
<http://www.tic-co.com/books/2012t855.html>

小型モータを材料で科学する  
<http://www.tic-co.com/books/12sta081.html>

メタマテリアルII  
<http://www.tic-co.com/books/2012t797.html>

ナノファイバー実用化技術と用途展開の最前線  
<http://www.tic-co.com/books/2012t853.html>

革新機能材料の開発と応用展開  
<http://www.tic-co.com/books/2012t850.html>

-----《 エレクトロニクス材料 》-----

[第3版]半導体材料・デバイスの評価  
<http://www.tic-co.com/books/2012s771.html>

有機デバイスのための塗布技術  
<http://www.tic-co.com/books/2012t845.html>

-----《 食品関連 》-----

機能性アミノ酸・ペプチドの技術と市場  
<http://www.tic-co.com/books/2012s776.html>

機能性食品素材と運動療法  
<http://www.tic-co.com/books/2012t851.html>

食品・医薬品のおいしさと安全・安心の確保技術  
<http://www.tic-co.com/books/2012t857.html>

高齢者用食品の開発と展望  
<http://www.tic-co.com/books/2012t868.html>

薬用食品の開発II  
<http://www.tic-co.com/books/2012t846.html>

-----《 医薬品・先端医療関係 》-----

抗体医薬品の開発と市場  
<http://www.tic-co.com/books/2012s774.html>

3極GMPに対応した設備適格性評価と保守・点検管理  
<http://www.tic-co.com/books/12stp070.html>

バイオ医薬品製造の効率化と生産基材の開発  
<http://www.tic-co.com/books/2012t842.html>

難吸収性薬物の吸収性改善と新規投与製剤の開発  
<http://www.tic-co.com/books/2012t829.html>

再生医療製品の許認可と組織工学の新しい試み  
<http://www.tic-co.com/books/2012t858.html>

-----《 酵素・微生物 》-----

合成生物学の隆起  
<http://www.tic-co.com/books/2012t848.html>

-----《 化学反応 》-----

マイクロリアクター技術の最前線  
<http://www.tic-co.com/books/2012t861.html>

-----《 機能性高分子 》-----

有機電子デバイスのための導電性高分子の物性と評価  
<http://www.tic-co.com/books/2012t849.html>

-----《 調査資料 》-----

ハラル認証実務プロセスと業界展望  
<http://www.tic-co.com/books/2012s775.html>

-----《 分析技術 》-----

微量ガスの高感度分析方法  
<http://www.tic-co.com/books/12sta082.html>

□ ■ ----- ■ □

セミナー及び書籍・調査資料Webサイトアクセス数Top10

□ ■ ----- ■ □

2012年 5月 1日から 6月30日までの2ヶ月間のセミナー及び  
書籍のWebページアクセス数Top10を挙げてみました。

..... ★ セミナー Top10 ★ .....

第1位『廃棄物／バイオマス発電システムの実際  
(現状・課題・対策・評価・展望)』  
(6月 8日(金)開催) 1196 counts  
<http://www.tic-co.com/seminar/20120603.html>

第2位『地熱発電の現状・経済性と技術開発など最新動向』  
(6月20日(水)開催) 997 counts  
<http://www.tic-co.com/seminar/20120617.html>

第3位 ～すぐ役に立つ～

『エアコンプレッサ及び圧縮エアの実践的省エネ技術』

(6月8日(金)開催) 678 counts

<http://www.tic-co.com/seminar/20120610.html>

第4位『藻類によるバイオ燃料生産の最新動向』

(6月19日(火)開催) 627 counts

<http://www.tic-co.com/seminar/20120616.html>

第5位『プラント配管設計の要点と要素技術』

(6月20日(水)開催) 578 counts

<http://www.tic-co.com/seminar/20120606.html>

第6位『排水処理装置の設計法』

～貯留槽・凝集反応槽・濾過器等基本プロセスと  
活性汚泥処理、膜分離活性汚泥処理(MBR)、高度処理等に  
おける設計のポイントと留意点までを平易に解説～

(6月19日(火)開催) 541 counts

<http://www.tic-co.com/seminar/20120601.html>

第7位『マイクロ波・高周波による加熱・乾燥技術』

(6月12日(火)開催) 517 counts

<http://www.tic-co.com/seminar/20120614.html>

第8位『粉碎の基礎・ボールミル・ビーズミル技術と

粒径変化予測・操作条件最適化及び最適設計』

(6月15日(金)開催) 373 counts

<http://www.tic-co.com/seminar/20120608.html>

第9位『異相系攪拌・混合の理論及び装置設計と

スケールアップ・最適ミキシング技術』

(6月22日(金)開催) 351 counts

<http://www.tic-co.com/seminar/20120609.html>

第10位『プラント主要装置廻りの配管設計』

～タワー、ドラム、タンク、コンプレッサ、ポンプ、  
熱交換器、エアフィンクーラ、パイプラック～

(6月21日(木)開催) 347 counts

<http://www.tic-co.com/seminar/20120613.html>

今回は第1位に『廃棄物／バイオマス発電システムの実況(現状・  
課題・対策・評価・展望)』がランクイン。

廃棄物 / バイオマス発電は新エネルギー導入目標量の中で大きな割合  
を占めていますが、その目標達成のためには低コスト化と高効率化等  
が急務といわれています。

本セミナーでは廃棄物発電技術の現状と発電効率の低い原因を整理し、  
資源リサイクルと環境負荷低減に配慮しながら発電効率・熱効率向上  
に向けた各種最新設備や新技術を紹介し、バイオマス発電では燃焼・  
ガス化発電やメタン発酵発電の現状と最新設備や新技術、事業性の検  
討事例を紹介している内容が多くのアクセスを生んだのでしょうか。

今回も8月31日(金)に

バイオマス発電システムの計画・設計と経済性評価  
～目的・条件に合わせた発電プロセスの選択と  
経済性を考慮したシステム設計のポイント～  
<http://www.tic-co.com/seminar/20120806.html>

を開催いたしますので参考にいただければありがたいです。

..... ☆ 書籍及び調査資料 Top10 ☆ .....

第1位『触覚認識メカニズムと応用技術』 410 counts  
<http://www.tic-co.com/books/10sta061.html>

第2位『CCS技術の新展開』 322 counts  
<http://www.tic-co.com/books/2011t818.html>

第3位『液晶ディスプレイバックライト』 264 counts  
<http://www.tic-co.com/books/06sta004.htm>

第4位『ドラッグデリバリーシステムの新展開II』 247 counts  
<http://www.tic-co.com/books/2012t847.html>

第5位『2010年 水処理・水浄化・水ビジネスの市場』  
171 counts  
<http://www.tic-co.com/books/2009z191.html>

第6位『ZnO系の最新技術と応用』 168 counts  
<http://www.tic-co.com/books/2007t538.htm>

第7位『医薬品製造・試験現場における  
ヒューマンエラー防止策と作業教育』 166 counts  
<http://www.tic-co.com/books/10stp048.html>

第7位『有機EL素子とその工業化最前線』 166 counts  
<http://www.tic-co.com/books/01nts007.htm>

第7位『有機EL照明用材料の開発と評価技術』 166 counts  
<http://www.tic-co.com/books/10sta058.html>

第10位『ペットフード・ペットビジネスの動向』 163 counts  
<http://www.tic-co.com/books/2007t572.htm>

第1位に『触覚認識メカニズムと応用技術』がランクイン。

「触覚」技術は携帯端末、パソコン、家電、自動車、コスメティク、日用品、文房具、飲料、医療・福祉用品など、人が触る様々な製品に携わる産業界からの引き合いが近年急増しているといわれています。

本書は、人の触覚認識メカニズムに関する入門書としての基礎的事項から、研究開発の最先端まで、32名に及ぶそれぞれの分野の第一人者が執筆しています。

このため、工学、心理学、脳神経科学、医学・生理学から製品開発、生産技術、マーケティング、デザイン、アートにわたる初学者から実践技術者、専門家まで、触覚技術に興味を持たれた様々な分野の技術者・研究者の方々にとって興味深い内容が注目されているのでしよう。

この集計データが、皆様の業務に少しでもお役に立てば幸いです。

□ ■ \_\_\_\_\_ ■ □

E-mail変更・不要について

□ ■ \_\_\_\_\_ ■ □

E-mailアドレスが変更になった場合は、件名に『アドレス変更』とご記入頂き、本文には、  
★ 旧E-mailアドレス  
★ 新E-mailアドレス  
をお書き添え頂きました上、このメールにご返信下さいますようお願い申し上げます。

今後このご案内メールが不要でございましたら、件名に『不要』とご記入頂き、本文には、  
★ E-mailアドレス  
をお書き添え頂きました上、このメールにご返信下さいますようお願い申し上げます。  
※下記URLでも承っております。  
<http://www.tic-co.com/merumaga.html>

※このメールの返信にてお問い合わせをされますと、処理の都合上、ご回答までに一週間以上頂く場合がございます。  
お問い合わせは [info@tic-co.com](mailto:info@tic-co.com) までお願い致します。

□ ■ \_\_\_\_\_ ■ □

雑記帳

□ ■ \_\_\_\_\_ ■ □

『ひまわり』

夏に大きな花を咲かせ、太陽に喩えられるひまわり。

今回は『ひまわり』にちなんだいろいろをお届けします。

#### ◎ひまわりの語源

語源は「日廻り」、太陽を追いかけて廻る花から来ています。

太陽を追いかけて廻るのは若いひまわりで、夕方に西を向き、夜中に方向転換して朝方に東を向き太陽が出てくるのを待ちます。

一度満開した(若くない)ひまわりは東の方を向いたまま、動かなくなるので多くのひまわりは、東向きに咲いています。

スペインのアンダルシアはひまわり畑で有名ですが、スペイン語でひまわりはgirasol(ヒラソル)と言いますが、gira(ヒラ)は「回転」sol(ソル)は「太陽」の意味ですので日本の語源と同じですね。

◎俳句とひまわり

向日葵、ひまわりを詠んだ俳句を私の好みで選んでみました。

向日葵の月に遊ぶや漁師達

前田普羅(まえだ ふら)  
(1884-1954)

日を追はぬ大向日葵となりけり

竹下しづの女(たけした しづのじょ)  
(1887-1951)

二重窓小窓をもてり向日葵黄

山口青邨(やまぐち せいそん)  
(1892-1988)

向日葵や都心変りて行き迷ふ

水原秋櫻子(みずはら しゅうおうし)  
(1892-1981)

向日葵は火照りはげしく昏てれみる

橋本多佳子(はしもと たかこ)  
(1899-1963)

小向日葵わが広額に納まるらん

中村草田男(なかむら くさたお)  
(1901-1983)

◎短歌とひまわり

向日葵、ひまわりを詠んだ短歌を私の好みで選んでみました。

髪に挿せばかくやくと射る夏の日や王者の花のこがねひぐるま

与謝野晶子(よさの あきこ)  
(1878-1942)

向日葵は金の油を身にあびてゆらりと高し日のちひささよ

前田夕暮(まえだ ゆうぐれ)  
(1883-1951)

雨を浴び結実のときを揺れて立つ向日葵または裸形の男

島田修二(しまだ しゅうじ)  
(1928-2004)

わがシャツを干さん高さの向日葵は明日ひらくべし明日を信ぜん

寺山修司(てらやましゅうじ)  
(1935-1983)

ひまはりの花の高さに微笑める少女とありし夏の日盛り

大塚寅彦(おおつか とらひこ)  
(1961-)

ひまわりは夏しか知らない花だから光も熱もこぼさずに咲け

天野慶(あまの けい)  
(1979-)

### ◎ゴッホとひまわり

ゴッホのひまわりといえば安田火災海上保険(現・損保ジャパン)が当時のレートで53億円で購入したエピソードが有名です。

ひまわりは、1888年8月から1890年1月にかけてゴッホによって描かれた「花瓶に挿された向日葵をモチーフとした油彩の絵画」で7点描かれ、このうち6点が現存しています。(1点は、1945年8月6日に第二次世界大戦の芦屋市空襲により焼失しています。)

その中の一つが53億円で落札されたものです。

画像をご覧になるにはこちらから  
[http://www1.megaegg.ne.jp/~summy/gallery/sun\\_flower.html](http://www1.megaegg.ne.jp/~summy/gallery/sun_flower.html)

画家ゴッホは生涯で2100点以上の作品を残しましたが、世間に受け入れられず、彼が生きている間に売れた作品は『赤い葡萄畑』1点のみでその作品も、「鶏小屋の穴を塞ぐのに使われていたこともあった」といわれているくらい当時の評価は低いものでした。

『赤い葡萄畑』の画像をご覧になるにはこちらから  
<http://www009.upp.so-net.ne.jp/naoji-curiosity/gogh1.htm>

不遇のゴッホは精神を病み、最後に住んだのがパリのオーヴェールでした。

彼はそこで医師ガシエの治療を受けます。

ガシエはゴッホの絵の理解者の一人で、ゴッホは医師ガシエの肖像を描き始めます。

その肖像画を描き終えた翌月、ゴッホは37才の若さで銃で自殺しました。(事故説もあります。)

不遇のゴッホを支えたのは弟テオでしたが、後を追うように翌年亡くなります。

その7年後、テオの未亡人は『医師ガシエの肖像』をパリの画商を通じてコペンハーゲンの女性コレクターに300フラン(58ドル)で売却しました。

そして、約100年後、テオの未亡人が58ドルで売った絵画は7500万ドル(当時のレートで113億8,000万円)でバブル期の日本人によ

って落札されました。

『医師ガシェの肖像』の画像をご覧になるにはこちらから  
<http://tetsuwanco.exblog.jp/16469946/>

## ◎ひまわりの豆知識

○ ひまわりの種は食用とされ、ロシア人は古くからこの種を常食としていました。

世界でひまわりの最大の生産国はロシアで、国花にも指定されています。

ソフィア・ローレンが主演した映画『ひまわり』の場面でも、列車の窓から見える一面に広がるひまわり畑が印象に残ります。

○ 気象衛星「ひまわり」の名称はひまわりが太陽を追尾するように、いつも地球を宇宙から観測しているのと、1日に1回地球のまわりを回るという意味から付けられています。

ちなみに、現在まで打ち上げられたのは、ゴッホの「ひまわり」と同じ数、7号までです。

○ ひまわり作付日本一

北海道北竜町はひまわりの作付面積、日本一を誇り、ひまわりを中心とした町づくりのアピールとして、インターチェンジに「北竜ひまわりIC」(深川留萌自動車道)の名称が付けられました。

インターチェンジの名称として地名以外の名前がついたのは、日本初だそうです。

ひまわりの作付が、世界ではロシアが一番。

日本でも北海道の町が一番。

ひまわりは南の植物、暑い地域の植物のイメージがありましたが、北の寒い地域の作付、生産が多いのは意外で勉強になりました。

あとがき全体を通しての出典:フリー百科事典

『ウィキペディア(Wikipedia)』

今回はひまわりにまつわるいろいろをお届けしました。

逞しき大ひまわりの母在りき

白井芳雄

最後までお読みいただきありがとうございました。

(株)技術情報センター メルマガ担当 白井芳雄

本メールマガジンのご感想や本メールマガジンへのご意見・ご要望  
等 melmaga@tic-co.com まで、どしどしお寄せ下さいませ。

////////////////////////////////////

『 - その先の、深い情報へ。 - 』

(株)技術情報センター

〒530-0038 大阪市北区紅梅町2番18号 南森町共同ビル3F

[TEL] 0120-06-0140 / 06-6358-0141

[FAX] 06-6358-0134

[URL] <http://www.tic-co.com/>

[E-mail] [info@tic-co.com](mailto:info@tic-co.com)